

## 分野別方針 16 保健医療

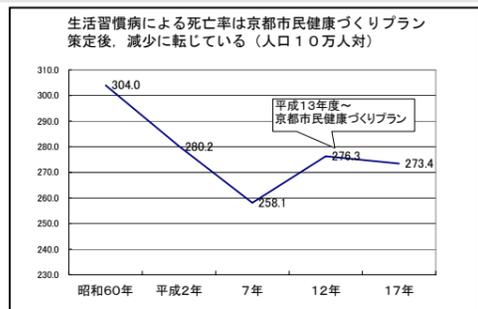
～誰もが生涯にわたっていきいきと健やかにくらす  
「笑顔・健康都市」京都を実現する～

### 基本方針

少子高齢化が急速に進展する中、すべての市民が、その生涯を通して心身ともに健やかにくらすよう、市民ひとりひとりが主体となって心身の健康づくりに取り組む意識の向上を図る。また、市民の健康をしっかりと守るため、適切な保健・医療サービスが受けられる体制整備や、衛生的な生活環境を確保する生活衛生の推進を行う。さらに感染症等市民の健康を脅かす危機が生じた際に迅速・的確に対応できる体制を構築する。

### 現状・課題

- 高齢化の進展に伴い、がん、心疾患等の生活習慣病が増加していることから、市民ひとりひとりが主体となって、京都の優れた食文化や地域コミュニティを活かし、健康的な生活習慣の実践を市民運動として展開していくための環境づくり、ノウハウの提供を行うことが求められる。
- また、保健・医療サービスの提供体制の整備や、食品衛生、居住衛生を確保する生活衛生の推進は、行政の基本的な責務として引き続き取り組んでいくことが求められる。
- さらに、国際化が進展する中で、輸入感染症、動物由来感染症の発生が懸念される。これまで新型インフルエンザ等様々な事案に対応してきた実績を活かし、保健医療関係機関等とともに市民の健康を脅かす事案に対し迅速かつ的確に対応していくことが求められる。



## 政策の目標

### <みんなで目指す10年後の姿>

- すべての市民が、生涯を通じて心身の健康づくりを心がけ、自身の状況に応じた健康づくり活動に取り組んでいる。その結果、生活習慣病にかからず、かかったとしても早期に治療し、いつまでも笑顔で健康に暮らせる。
- 適切な情報をもとに、保健所、保健センター、病院、診療所等の保健医療サービスが必要なときに利用できる。
- 食や住まいの衛生が確保されている。
- 感染症、食中毒等の健康危機に対し、迅速・的確な対応がなされ、市民の安全と安心が確保されている。

### <政策指標>

指標	現況値	目標値
1 運動習慣者の割合 ※1	男36.8% 女34.3%	男女共50%以上
2 非喫煙者の割合 ※2	男59.7% 女67.9%	男80%以上 女90%以上
3 生活習慣病による死亡率（人口10万人あたり） ※3	273.4	250以下
4 年間自殺者数	316	240人以下
5 乳児死亡率（出生1,000人あたり）	2.9	1.5以下
6 京・食の安全衛生管理認証制度認証数	55	500以上

#### <統計数値の定義>

- ※1 20歳以上、1日30分、週2日以上を1年以上継続の割合
- ※2 20歳以上
- ※3 40歳～64歳

## 市民と行政の役割分担と共汗

### <共汗の方向性>

